

令和8年度関東東海北陸農業試験研究推進会議経営推進部会春季研究会開催要領

農研機構 中日本農業研究センター 経営支援研究部長
宮武 恭一

1. 趣 旨

農研機構では、研究業務の効率的な実施および研究成果の効果的な普及等により研究業務の波及効果を高める観点から、国、都県、大学、民間企業、関係団体、関係する農研機構の研究部門・センターの協力を得て、関東東海北陸地域の農業に関する試験研究を対象とする関東東海北陸農業試験研究推進会議を設置しており、このうち農業経営に関する研究の深化のため、関東東海北陸農業経営研究会との共催で研究会を開催してきた。

2021年5月に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」が策定され、その一環として有機農業の取組面積拡大にむけた技術革新が加速しているが、有機農業の発展のためには、有機農業の技術開発のみならず、有機農業を志す新規就農者の経営の早期安定化や有機農業経営の規模拡大につながるよう、有機農業技術の導入条件や導入効果および有機農産物の販売方策について明らかにすることが重要となる。

そこで本研究会では、有機農業の展開と経営評価(仮)をテーマとして、露地野菜、施設野菜、水稻、茶を対象に有機農業技術の経営評価や販売方策について報告していただく。それらを素材に、農業経営研究分野の今後の展開可能性について検討することを目的とする。

2. 開催日時 令和8年7月2日(木) 13時30分～7月3日(金) 12時00分

3. 開催場所 ハイブリッド形式で開催(対面:農研機構 食と農の科学館(つくば市)、及びオンライン (Microsoft社のTeamsを利用))

4. 議 事

1) 研究会 令和8年7月2日(木) 13時30分～17時10分

シンポジウムテーマ「有機農業の展開と経営評価の課題」(仮)

座長 澤田 守(農研機構)

1. 秋冬ニンジンの有機栽培の広がり除草技術の経営評価(仮)

高橋 ゆうき(千葉県農林総合研究センター)

2. 有機イチゴの安定生産技術体系の経営評価(仮)

ルハタイオパット プウォンケオ・澤田 守(農研機構)

3. 生産者の栽培状況やこだわりなどの情報をPRする有機米等の販売促進サービスの構築(仮)

谷口 昌史(愛知県農業総合試験場)

4. 有機茶の流通・販売の特徴と消費ニーズの分析(仮)

中丸 京子(農研機構)

コメント

山崎 成浩(静岡県)、大畠 寛和(農研機構)

総合討論

2) 個別報告会 7月3日(金) 9時～12時(ハイブリッド形式で開催予定)

5. 参集範囲

農林水産技術会議事務局、農林水産政策研究所、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東海北陸地域公立試験研究機関、普及機関及び行政部局関係者、農研機構、その他部会長が必要と認めた者

6. その他

なお、本研究会は関東東海北陸農業経営研究会との共催であり、発表成果は審査の上、「関東東海北陸農業経営研究」として刊行予定。

7. 連絡先

農研機構 中日本農業研究センター 経営支援研究部スマート 農業経営グループ 担当:松本 浩一
茨城県つくば市観音台 3-1-3、E-mail: KTH-KeieiBukai@ml.affrc.go.jp TEL: 029-838-8876